

## 令和6年度 県立横浜修悠館高等学校聴講生募集要項

### 1 趣旨

この要項は、地域や社会に開かれた高校づくり、柔軟な学びのシステムの実現の観点から、本校の一部科目について履修を希望する社会人の方を聴講生として受け入れるに当たり、必要な事項を定めるものです。

### 2 聴講の方法

本校の教育課程に位置づけられた教科・科目の中から教育展開上支障のない範囲で社会人の方を聴講生として受け入れ、生徒とともに学んでいただきます。授業で実施する実験や実習、レポート提出等については原則として生徒と同様の扱いとします。

### 3 申込み・問合せ先

神奈川県立横浜修悠館高等学校 担当 増尾・寺澤

〒 245-0016 横浜市泉区和泉町 2563 番地

TEL (045) 800-3711

### 4 募集に関する事項

(1) 募集期間 令和6年3月3日(日)～3月19日(火)

(ただし、3/8(金)、3/9(土)、3/10(日)の午前、3/14(木)の午前、3/15(金)、3/16(土)、3/17(日)、3/19(火)の午前を除きます。)

午前9時～午後4時 本校事務室にて受付

(2) 開講科目 本校は通信制の課程です。次の科目が聴講できます。

(ただし、開講科目は平日登校講座のみとします。)

No.	教科	科目	単位数	開講日(曜日・時限)		募集人員	費用
1	国語	古典探究A	2	毎週1日	火1	若干名	1,400円
2	地歴	世界史探究	4	毎週2日	火2、木1	若干名	2,800円
3	地歴	日本史探究	4	毎週2日	火3、木2	若干名	2,800円
4	公民	倫理	2	毎週1日	火1	若干名	1,400円
5	公民	政治・経済	2	毎週1日	水1	若干名	1,400円
6	数学	数学I	4	毎週1日	火2	若干名	2,800円
7	理科	科学と人間生活	4	毎週1日	水1	若干名	2,800円
8	外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	毎週2日	月4、水3	若干名	2,800円

聴講期間 令和6年5月6日(月)～令和6年12月19日(木)

※前期：5月6日(月)～7月25日(木) 後期：9月30日(月)～12月19日(木)

1限 9:00～9:50 2限 10:05～10:55 3限 11:10～12:00

4限 13:10～14:00

### (3) 開講科目の内容等

No.	教科	科目名	内容	受講にあたっての前提条件	目標
1	国語	古典探究A	古文では説話、随筆、日記、物語、和歌等を、漢文では故事成句、史話等を取り上げる。	特になし	諸作品の読解を通して、情景や心情を理解するとともに、作品の文学史的意義を確認する。
2	地歴	世界史探究	世界の歴史について基本的な事柄を学ぶ。	パソコンの基本的な操作ができること。	世界の歴史的過程についての基本的事柄の理解を深める。
3	地歴	日本史探究	1年間で原始・古代から現代までの日本の歴史を学ぶ。	パソコンの基本的な操作ができること。	日本の歴史の流れについての基本的事柄の理解を深める。
4	公民	倫理	現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方について学ぶ。現代の諸課題について倫理的に考える。	パソコンの基本的な操作ができること。	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
5	公民	政治・経済	日本国憲法や政治機構、経済のしくみを学び、国際社会のあり方について考える。	パソコンの基本的な操作ができること。	政治・経済の基本的知識を得て、社会的事象に対する判断能力を高める。
6	数学	数学Ⅰ	数と式、図形と計量、二次関数、データの分析等について学ぶ。	特になし	数と式、図形と計量、二次関数、データの分析等について理解し、事象を数学的に考察する能力を培う。
7	理科	科学と人間生活	私たちの日常生活と科学がどのように関わっているのかを学ぶ。物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の入門的科目。	特になし	科学技術が私たちの生活と深く関わっていることを理解し、論理的に考える能力を身につける。
8	外国語	英語コミュニケーションⅢ	様々な内容の高度な英語長文を読み、内容を理解する力、日本語に訳す力、考えや意見を英語で表現する力をつける。	特になし	英語を通じて、情報や考えを的確に理解し、適切に伝達する能力を伸ばす。

## 5 応募に関する事項

### (1) 応募資格

聴講生として応募することのできる方は、県内に居住又は勤務する方で、中学校卒業相当年齢以上で、かつ、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）に在籍していない方とします。

### (2) 応募方法

「聴講申込書」用紙に必要事項を記載し、本校に提出してください。

提出にあたり、事前に聴講の趣旨や科目内容について理解していただくため、担当者から説明をします。必ず聴講を希望される方ご自身が持参してください。

提出場所：本校事務室

提出時間：前記4に示した募集期間の午前9時～午後4時

※1 書類提出にあたり、県内に居住又は勤務していること及び生年月日を証明する書類をご持参ください。

県内在住が証明できる書類：(例)自動車運転免許証、健康保険証、住民票等

県内在勤が証明できる書類：(例)勤務地が明記してある社員証等

※2 来校にあたっては、予め電話でご連絡ください。

## 6 聴講者の決定

### (1) 方法

各科目の応募者が多数の場合には、公開抽選会で決定します。抽選になった科目は電話等でご連絡しますので、次のとおりお集まりください。

(2) 日時 3月24日(日)10時から

(3) 場所 本校会議室

## 7 聴講までの手続き及び費用

### (1) 聴講生決定の連絡

3月25日(月)以降、希望者全員に対して電話等により結果を連絡します。

### (2) 聴講許可書の交付及び聴講にかかる費用の徴収

4月25日(木)14時に本校応接室で、聴講許可書を交付するとともに、聴講にかかる費用を徴収いたしますのでご出席ください。併せて、聴講にあたっての説明を行います。(当日出席できない方は、事前にご相談ください。)

#### 【聴講にかかる費用とは】

① 聴講料 (県の条例により、募集する課程ごとに定められた金額です。)

1単位あたり700円です。(例：日本史探究 4単位・・・2,800円)

② 教材費

教材費が必要となります。詳しくは4月25日(木)の開講式までに電話等で連絡いたします。

## 8 修了

### (1) 認定方法

出席状況や生徒と同様に実施する実験や実習、レポート提出等の取組状況を勘案して、科目の目標からみて成果が満足できると認められる場合には、修了を認定します。

### (2) 修了証書の発行

校長は、当該高校での聴講を修了したと認めた方に対して、「聴講修了証書」を発行いたします。

また、聴講証明書が必要な場合には、「県立学校の証明書交付手数料等の徴収に関する条例」(昭和30年神奈川県条例第12号)に基づき、手数料(1通400円)を徴収します。

## 9 聴講許可の取消

次の各号のいずれかに該当する場合には、聴講の許可を取り消させていただくことがあります。なお、この場合における聴講料の返金はいたしません。

(1) 学則及びその他の例規に違反したとき

(2) 高等学校における教育活動の秩序を乱したとき

(3) 高等学校における教育活動に支障を及ぼすおそれがあるとき

(4) 虚偽又は不正な行為により聴講の許可を受けたとき

(5) 聴講料を納付しないとき

(6) その他校長が必要と認めるとき

## 10 その他注意事項

本校においては、

- (1) 敷地内はすべて禁煙です。また酒気帯び等での出席は固くお断りします。生徒と同じ生活のルールで授業に参加していただきます。
- (2) 聴講生用名札を着用していただきます。
- (3) 自家用車やバイクでの来校はできません。
- (4) 諸事情により講座の内容が変更になることがあります。